

里山環境再生プロジェクト

〒770-8074
徳島県徳島市八万町下福万71-4
電話:088-679-6722(携帯090-1000-2587)
E-mail:sana71@road.ocn.ne.jp

ひろげる助成

3年目

実践



親子で野草観察会(野草はお店のどけい)

活動の参加者数

341人

グリーンツーリズム宿泊者数

22人

今年度計画の達成度

80%

活動の全体目標に対する達成度

80%

苦労した点と工夫した点



■ 苦労した点

急傾斜の山林の階段づくり等では、人手がいるため、常にスタッフと学生に声をかけ、できるだけ早い段階で作業スケジュールを組むようにした。

■ 工夫した点

耕作放棄地、山林の再生だけでなく、採れたもの(ハーブや果樹等)を活かすために、オリジナルの里山ピザを皆でつくり、家族やボランティアのランチに供した。

課題

過疎地域での耕作放棄地や放置山林の里山再生が課題で、特に何十年に渡って放置され、荒れている山林は地域への環境影響が大きく、土砂崩れなども大きな課題になっている。

目標

耕作放棄地、放置山林を再生し、生物の生息域を確保しながら、多様な世代が訪れる場所とし、希少生物の保全にも貢献することを目指した。

活動内容と成果

3年間に渡り、耕作放棄地と山林の再生を行い、対象地域を歩くルートをつくり、ハーブガーデン・果樹園・林(杉、檜、竹、栗)を巡るコースを作った。耕作放棄地では、モデル農園(ハーブガーデンと果樹園)が完成し、ピザやジャム、シロップなどをつくり、ハーブや果樹を里山の食として、親子の里山体験のランチや宿泊客の朝食に供してきた。また、藤袴にアサギマダラ(渡り蝶)が飛来するなど、副産物もあり、アサギマダラが飛来する里山としてさらに藤袴を増やし始めている。



ハーブ園の横ですだち作り、採取の後で剪定

全助成期間の活動を振り返って

耕作放棄地よりも山林の再生が最も難しかった。放置している期間が長いほど石垣や斜面が崩れ、台風や大雨が来ると作った階段が崩壊したこともあった。里山の再生で、ハーブガーデンと果樹をメインにし、里山ピザ(フルーツピザも)をオリジナルでつくったことは多くの若者や家族を集めた。今後、さらに工夫し、里山ならではの活動の幅を広げられると考えている。



ピザ食材そろい、親子等参加者で焼きます

今後の展望

現在の活動を拡大発展するために、本年2月に佐那河内村の交通不便な場所で耕作放棄地、山林を確保した。新たなハーブガーデンや蝶の来るガーデン、果樹の森などをつくる計画を立案中で、これまでの経験と技術を活かしながら、里山の生態環境の保全と育成のモデル的な場所とする予定である。また、集落住民、村外からの家族等、多世代が集まる交流の場としての機能を持たせ、里山ツーリズムの形成を意図している。